

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 5年 3月 15日

事業所名

つぼみケア

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2	職員の配置数は適切である	○		職員体制・配置基準を満たしています。	次年度も同様に職員配置等を整えていきます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		室内は全面バリアフリーとなっています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○			
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		毎日朝礼を行い、必要に応じて支援の見直しを行っています。職員面談を年2回実施し、目標の設定、評価等を確認して目標管理活動を行っています。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者様から頂いたご意見を職員間で共有して、改善方法を検討していきます。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページで公開します。	安心してご利用いただけるよう、ご意見を真摯に受け止め改善していきます。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		社内・事業所内研修、外部研修に参加している。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		保護者様の要望や、ご利用児の状況を把握して、個別支援計画の作成を行います。	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		ガイドラインに則して「発達支援」「家族支援」「地域支援」の内容を会議で話し合い、個別支援計画を立案しています。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		支援計画に則して支援を行っています。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		多職種で連携して立案しています。	

	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		季節に合わせた活動を実施しています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○			
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎日朝礼にて確認しています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		終礼ノートを活用して情報共有しています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		連絡帳や支援会議録を活用しています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		6ヶ月毎や必要時に評価を行い、計画を見直します。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児発管や看護師、リハ職等も参画しています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		保健推進室の保健師との連携や母子連絡会等に参加しています。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		地域の保健師や支援学校、訪問リハや医療機関等と連携を図っています。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		主治医に指示書の記入をお願いして、緊急時の連絡体制等を整えています。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○		今年度は移行支援は行っていませんが、対象児が在籍される場合には情報共有等を行います。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○		
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		第二つばみ保育園と交流して行事にも参加しています。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		数回参加させていただきました。	今後も参加して、事業所運営や支援に活かしていきたいと思えます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			

	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	○		コロナ禍により、定期的開催できていません。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		懇談または適宜相談の実施を行います。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		感染対策を行いながら、茶話会など集える機会を検討していきたいと思います。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		個人情報取り扱いについての同意を得ています。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		
	非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		すべてのマニュアルを作成して訓練を行います。
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		定期的に訓練を行っています。	
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		事前に確認して対応方法を周知しています。	
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			
45		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		事故やヒヤリハットは、事業所内で共有しています。	
46		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		社内研修及び外部研修に参加しています。	
47		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○			現在身体拘束は行っていませんが、必要・やむを得ない場合については検討していきます。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和 5年 3月 15日

事業所名 つぼみケア

保護者等数（児童数）1名 回収数 1名 割合 100%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いい え	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	1	0	0	0		今後も安心安全に過ごすことができるよう、環境整備や点検等を行います。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	1	0	0	0		今後も地域の福祉専門職として専門性を磨き満足していただけるサービスの提供に努めます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	1	0	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	1	0	0	0		
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、 <u>児童発達支援計画*2</u> が作成されているか	1	0	0	0		今後も、保護者様の要望や、ご利用児の状況を把握して個別支援計画の立案を行います。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	1	0	0	0		ガイドラインに則して「発達支援」「家族支援」「地域支援」の内容を会議で話し合い、個別支援計画を立案しています。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	1	0	0	0		今後も個別支援計画の立案、支援の実施、評価のプロセスに則して支援を行います。
	8 <u>活動プログラム*3</u> が固定化しないよう工夫されているか	1	0	0	0		
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	0	0	0		定期的に第二つぼみ保育園との交流や、行事等に参加しています。

保護者への説明等	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	1	0	0	0		
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	1	0	0	0		
	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか	1	0	0	0		
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	1	0	0	0		
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	1	0	0	0		
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	0	0	0		次年度は茶話会等、開催できる方法を検討して行きたいと思います。
	16	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	1	0	0	0		
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	1	0	0	0		
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	1	0	0	0		今後もホームページ等を活用して、発信していきたいと思います。
19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	1	0	0	0			
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	1	0	0	0		すべてのマニュアルを作成して、訓練の実施を行います。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	1	0	0	0		定期的に避難訓練を実施しています。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	1	0	0	0		今後も楽しく活動できる支援を実践することができるよう努めたいと思います。
	23	事業所の支援に満足しているか	1	0	0	0	大変満足している。子供を大切にしてくれていると感じる。	ありがとうございます。今後もより良いサービスの提供に向けて、職員の質の向上にも努めていきたいと思っています。